

インタビュー

次世代リーダーが語る『健康食品』



健食業界の今後をどう

寺尾

の見ていますか。

現在の業界の問題

の一つとして、やはり表示の問題が挙げられると思います。増え続ける医療費の問題を解決していくためにも、病気の予防対策は重要である程度の安全性が確保された健食の情報発信が必要ではないでしょうか。その意味でも、来年の消費者庁の件には期待をしています。また、メーカー側も安

会社概要

ドイツワッカーケミー社のシクロデキストリンとその関連製品、スペシャルティ・ファインケミカル製品を取り扱う日本総代理店として、02年7月に設立。
☎ 03・5614・7147

吸収性と持続性が得られ、少量の摂取で体感性が得られることが、研究を積み重ねて確認してきました。しかし包接化Q10のメリットは機能性の面

シクロケム 代表取締役社長

寺尾 啓二 氏

金性、エビデンスの追求を行い、より信頼の高い製品を市場に投入していくことが重要であると考えています。

—シクロケムでの研究動向は。

寺尾 私どもはこれまでCoQ10をシクロデキストリン(ヤシード)で包接加工(以後..包接化Q10)するところが高い

だけではなく、安定性の面にもあります。

CoQ10は決して安定的な物質ではなく、光、熱、他成分などの要因で酸化、分解、物質変化が起こり、肝機能へ悪影響を及ぼす毒性物質を作り出すことが明らかになつ

包接化Q10で三菱ガス化学と提携

しました。一方、包接化Q10には分解がみられました。

包接化Q10は熱、光の影響を受けにくく、十分に効果を体感できる30mg(包接体として150mg)を、たとえこの環境下で摂取しても全く分解

しまった。三菱ガス化学は技術提携を結び、6月から包接化Q10の供給を開始しました。既に大手のサプライメントメーカーがこれを用いて製品開発を行っており、包接化Q10の市場での動きがまもなく活発化していくことを予想して

ています。

—三菱ガス化学と技術提携を結びましたね。

います。

CoQ10は市場が拡大し続けている米国では摂取量に規制がないため、500mg以上を摂取する人も多いですが、日本は30~100mgの間の製品が多く、体感できる人の割合も変わってくることが予想されます。

私どもはCoQ10をブームで終わらせないと研究を積み重ね、市場の活性化を図っています。

またもう一つ、今年からマヌカハニーとプロポリスの取り扱いを開始しましたが、包接による効果について調べていくところから面白い点が見つかっており、今後さらに研究を進めていきます。